

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	魚野川水辺プラザ 川の文化と川魚を学ぶ会	事業経緯	新規	実施体制	後援	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

長岡市川口地域は、大河「信濃川」と清流「魚野川」という二つの大きな河川の合流点に位置し、150年の伝統を誇る「川口やな場」があるなど古くから川と川魚との関わり合いが深い地域である。こうした地理的かつ歴史的な背景をもとに、実際に川で学び、体験することで河川利用の促進、治水や環境保全の大切さを啓発することを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：森・里・海をつなぐ川の会
共催：長岡市、川口観光協会、游川の会
後援：国土交通省信濃川河川事務所、(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業概要

日時：令和元年8月11日(日)

場所：魚野川水辺プラザ【西川口河川公園】

プログラム：

- ① 川を学ぶワークショップ
 - ・パネルを使った川や生き物の学習
 - ② 川や生き物、やな場等の写真展示
 - ・川(風景、災害状況、復旧工事等)、生き物、やな場の工事状況等の写真を展示
 - ③ 生きている川魚等の展示
 - ・水槽等により生きている川魚やカニを展示
 - ④ やな場体験
 - ・伝統漁法であるやな場の体験
 - ⑤ 川魚のクイズ
 - ・川魚のなまえ当てクイズを行い、全問正解者に景品を贈呈
- 【同時開催】川魚のつかみどり
・同会場においてニジマス、アユ、うなぎのつかみどりを開催
参加者：730名(川魚のつかみどり参加者も含む)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

「魚野川水辺プラザ」は「信濃川・魚野川の合流する水辺環境の保全と活用」を基本方針に平成14年に整備された。

本事業では親子での参加が多く、ワークショップで子供たちが積極的に発言したり、クイズに回答する姿が目についた。また、生きている魚を見たり、さわったりして熱心に観察する姿も見受けられ、川や生き物を知る良い機会となった。さらに、実際に川でのやな場体験や川魚のつかみどりは、川を身近に感じることのできる貴重な体験となっており、こうした知識・体験を通して川への理解や親しみがより深まることで、河川利用の促進並びに治水や環境保全への意識向上が期待される。



川を学ぶワークショップ



やな場体験



川魚のつかみどり



川魚の展示